

松禪寺報

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

<http://syozen.com>

第39号

発行 平成22年2月28日

年末年始は雪に埋もれましたが、振り返れば暖かい冬でしたね。2月半ば過ぎには露の臺が顔を出し、早、春の気配です。私たちは勝手なもので、暑ければ暑いと不平を言い、寒ければ寒いと愚痴をこぼす、何十年も同じ事を繰り返しているわけです。見出しの禅語は、中国は宋の詩人・戴益(たいえき)の「春を探る」の一節です。誌全体の意訳は、「終日、春を探しに草鞋を減



らして歩き回ったが、ついに満開の梅は見つからなかった。仕方なく我が家に帰ってきて梅の木の下を通ってみれば、なんと、枝先の蕾がふつくらと膨らみ、春の訪れを教えていてくれるではないか。」というものです。ついつい遠くにあるだろう幸せを求めようとする私たちに、日々の暮らしの中にこそ掛替えのない幸せがあると、戴益は「遠く求むるはかなさよ」(白隠坐禪和讃)

と教えてくれます。幸せとは特別なことではなく、私たちの日常のなかにこそあるものなんですね。まもなく春のお彼岸です。祖先を敬い、亡くなった人を偲び、いまある命に感謝する行事です。お寺では21日春分の日に彼岸法要を営みます。法要には、当番さんたちが心を込めて調理してくださいました料理を、仏さまにお供えします。そして、その同じ料理をお参りの皆さんといっしょにいただきます。皆さんがお供えしてくださった米や野菜を煮込んだ料理を、みんなで上下の隔てなく平等に同じ食事をいただく、これを「食平等」(じきびょうどう)といっています。みんなが仲良く平和であるようにというもので、仏教では他に施す無償の行為を、「布施」といって大事な修行の一つとしています。皆さんも法事でお参りの皆さんに料理を出されますが、これも「お布施」の一つなのです。みんなでお食事をいただき、みんなでお味を味わい、命の糧をいただき、大事な法要の一つなのです。日常のごくありふれたことに幸せを見いだす、ほら、顔をあげて春の空を眺めてみましょう。

護持会の決算や予算などを承認可決

平成二十二年度総代会及び評議員総会を開催

新年度の予算などを協議する松禪寺総代会並びに評議員総会を2月11日(木)の午前、松禪寺で開催しました。総代及び会計7人、評議員11人が出席しました。

評議員会の冒頭、本堂において涅槃会の法要を行いました。2月15日が涅槃会の日ですが、松禪寺にある大きな涅槃像を見ていただきたいと全員でお経をあげました。

会議では平成21年度の事業と通常会計決算報告をはじめ、特別会計決算報告、祠堂金積立金の報告、霊園会計決算報告のほか、平成22年度の事業計画や会計予算を提案、すべて原案通り承認可決されました。

昨年年度は本山妙心寺の六五〇年遠諱の正当年ということで、団参をはじめさまざまな記念事業が行われましたが、すべて無事終了いたしました。22年度は、松禪寺では四国八十八カ所霊場巡拝の旅を企画、また、山陰東教区では坐禅会や御親化授戒会などの事業も行われます。これら事業への参加と協力を呼びかけました。

なお、当日の資料等につきましては、別途配布いたします「松禪寺花園会資料」をご覧ください。

平成22年度

松禪寺花園会役員

(敬称略)

- 参与 住職・高橋乾峰
- 会長 西垣 勉(栗尾)
- 副会長 平石 義信(栗尾)
- 会計 柴田 巧(栗尾)
- 役員 平石 貞雄(佐田)
- 浅田 鑑三(久畑)
- 福田 春彦(平田)
- 榎本 好道(佐々木)

- 評議員 山下 信男(栗尾)
- 森岡 保徳(栗尾)
- 森下 秀夫(栗尾)

- 評議員 中島 一之(栗尾)
- 武田 重教(栗尾)
- 柴田 幸博(栗尾)
- 横谷 富雄(佐田)
- 中島 義高(佐田)
- 平石 貞雄(佐田)
- 浅田 芳弘(久畑)
- 栗田 卓次(平田)
- 久世 善樹(佐々木)
- 榎本 好道(佐々木)
- 西 幸信(佐々木)
- 以上



▲インドのクシナガラにある涅槃堂には巨大な涅槃像が祀られ、国内外からの参拝が絶えません。

涅槃会

2月15日はお釈迦さまが入滅された日で、全国の寺院では涅槃会(ねはんえ)という報恩の法要を営みます。

80歳になられたお釈迦さまは、陰暦2月15日にクシナガラの沙羅双樹の下で、右脇を下に頭を北に向けて横臥し、永遠の安らぎである涅槃に入りました。

四国八十八ヶ所霊場巡拜のご案内

参加者募集中

発心の道場 阿波国(徳島県)17ヶ寺を参拝します



◆旅程(全行程貸切観光バス利用)

	豊岡市内	但東町	徳山IC	西 紀SA	徳石職・徳門大橋	淡路SA
	5:00 発	5:30 頃		7:00~7:15		8:15~8:30
4/26 (月)	①霊山寺—②極楽寺—③金泉寺—④安楽寺(昼食)—④大日寺—		12:00~13:15			
	⑤地藏寺—⑥熊谷寺—⑦法輪寺—⑧切幡寺—⑨十楽寺・宿坊(泊)		17:40 頃			
4/27 (火)	宿坊(朝飯)—⑩藤井寺—⑪大日寺—⑫焼山寺(タクシー利用・昼食)—		10:00 ~ 12:10			
	⑬常楽寺・⑭国分寺—⑮観音寺—⑯井戸寺—阿波乃里(買物)—		16:00~16:30			
	淡路SA	徳門・徳石職大橋	西 紀SA	徳山IC	但東町	豊岡市内
	17:30~18:00		19:00~19:30		21:00 頃	21:45 頃

※旅程は道路事情により多少変更が生じる場合があります。ご了承下さいませ。

このたび平成22年より平成24年にかけて、約10回にわたる「四国八十八ヶ所霊場巡拜の旅」を企画いたしました。これは、楊岐院(豊岡市日撫)、桂昌寺(西谷)と松禪寺の合同主催で、お一人での巡拜がなかなか困難な霊場巡拜を、住職と一緒に旅する計画です。どうか、この機を有縁としてご一緒に巡拜して頂けましたら幸いです。第一回の予定は次のとおりです。阿波の国(徳島県)17ヶ寺を巡拝します。一人でも多くのご参加をお待ちしています。

日時 平成22年4月26日(月) ~ 27日(火)

一泊二日

参加費 2万7千円
(納経物、納経料は含まれません)

申込締切 平成22年3月31日まで

宿泊予定地 第7番札

御親化授戒会が開かれます

所「十楽寺」宿坊
※巡拜用具(金剛杖、数珠、輪袈裟)や納経物(軸、帳面、白衣など)をご購入される方は、事前にカタログで注文されることをお勧め

めいたします。お申し込みの際にご相談ください。
●参加ご希望の方は、参加費を添えて松禪寺までお申し込み下さい。

松禪寺が属します妙心寺派山陰東教区では、今年11月21日~23日に、和田山町竹田の観音寺様を会場に御親化授戒会(ごしんけじゅかいえ)を開催いたします。

これは、妙心寺派管長自らがお出でになって授戒会を行われるものです。妙心寺派の檀信徒として、毎日どのように生きてゆくべきかを学び修行して、命の大切さ、人間の尊さにめざめる行事です。日々の生活の基本となる正しい教えときまり、それを「戒」といいます。戒師である管長様より「戒」を授けていただき、仏弟子となつてみ仏の心を相続する大切な儀式が授戒会です。

なお、この戒を受けるには、本戒と因縁戒の二通りがあります。本戒とは、自ら仏弟子となり、管長様から戒脈(かいみやく)をい

ただきます。因縁戒(いんねんかい)とは、この滅多にない良き縁により、ご先祖様の追善供養をし回向することをいいます。

まだ計画段階で確定ではありませんが、このたびの御親化授戒会では、本戒に延べ400人(戒徒料2万5千円)、因縁戒に延べ1千人(戒徒料3千円)の参加が見込まれています。松禪寺の檀信徒の皆さんは、11月21日(日)が参加割当ての日になります。5月頃に「お授戒のご案内」を配布する予定です。この機会にぜひ参加してください。



きょうひがんぼだい たね ま ひ 今日彼岸菩提の種を蒔く日かな

懺悔と感謝

春彼岸の法要

3月21日（日）午前11時より

今年も彼岸が巡ってきました。

大いなるものに抱かれ
さまさまな命を
いただいていることに
感謝しましょう



祖先を敬い、亡くなった人を偲ぶ先祖供養とともに、いただいた今ある命を喜び、感謝を捧げる大事な行事です。今、自分が存在するのは誰のお陰なのか、どれだけ多くの人に支えられているのか、この縁に感謝いたしましょう。

彼岸（ひがん）は、祖先を敬い、亡くなった人々を偲ぶ時節ですが、「感謝」と「懺悔」の日でもあります。彼岸とは、「到彼岸」（とうひがん）の略で、梵語のパラミター（波羅蜜多）の意訳です。悟りの世界を「彼岸」と

いい、逆に迷いの世界を「此岸」（しがん）といいます。私たちが「此岸」で苦しむのは、必要以上に物事に執着するからなのです。

左記のとおり彼岸会を執り行いますので、ぜひお参りください。そして、「感謝」と「懺悔」をして、新たなスタートを切りましょう。

【春彼岸会ご案内】
日時 3月21日（日）
午前8時 当番による調理開始
午前11時 彼岸法要
正午 お齋（食事）

心に栄養を

本山布教師さんの法話会

3月18日（木）午後2時開教

今年も本山布教師さんによる定期巡教を左記のとおり開教いたしますので、ぜひこの機会に心に「栄養」をつけて、希望と喜びのある暮らしの糧にしてください。

どなた様でも、ご自由にご拝聴ください。

【ご案内】
とき 3月18日（木）
午後2時より開教
ところ 松禪寺
テーマ 『調（ととの）える』
一日一度は静かに坐（すわ）って、身（からだ）と呼吸と心を調



▲昨年の定期巡教にも多くの皆さんが耳を傾けられました。

（ととの）えましよう
巡教師 今野慈耕師（愛媛県宇和島市・光明寺ご住職）

坐禅会のご案内

毎月20日は、坐禅会を行っています。どうぞお気軽にご参加ください。

日時 毎月20日、午後8時より約1時間ほど

場所 松禪寺本堂

内容 般若心経の読経、坐禅を15分から20分ほど組み、これを2回繰り返します。最後に白隠禪師坐禅和讃を讀経して茶礼で終わります。坐禅を組めない人は、正座、イスに座つての坐禅も可能です。